

受領 令和4年6月2日 08時49分

通告番号 (16) 1/2

令和4年6月2日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
松田 昌邦 印

一般質問通告書

第517回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 村民センター地区運動施設ゾーンの実施計画について</p> <p>(1) 総事業費及び整備施設の概算工事費及び規模は。</p> <p>(2) 屋内運動場整備事業における施設高さが景観条例に抵触はしないか。また、座喜味城の世界遺産への景観上の影響はないのか。</p> <p>(3) 施設ごとの稼働日数及び利用人数は。</p> <p>(4) 施設ごとの年間維持管理費は。</p> <p>(5) 屋内運動場は施政方針にある「村民にとっての利便性の高い施設」とは。また、防災やパンデミック対応も視野においているのか。</p>	
<p>2 自治会加入率が50%を切っているが</p> <p>(1) 包括的コミュニティづくりの推進策はいかに。</p> <p>(2) 自治会未加入者へアンケート等の実施を行ない、分析に基づく対策の必要はないか。</p> <p>(3) 老朽化の著しい地域コミュニティの拠点整備が急務と考えるが対象施設はあるのか。</p> <p>(4) 軍用地の返還や道路整備などに伴い新たなコミュニティ施設の拠点づくりの必要性はないか。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(5) 地域ごとのより細かな防災集会所施設整備の必要性はないか。</p> <p>(6) 自治会を支える人材確保に向けて地域振興交付金の増額が必要ではないか。</p>	
<p>3 物価高について</p> <p>(1) 農業分野における家畜飼料や肥料高騰の影響とその対策はあるか。</p> <p>(2) 生活必需品の物価高が今後も続くが年金収入のみの高齢者への短期及び長期に渡る支援策が必要と思われるが村独自に検討しているものはないか。</p> <p>(3) 水道料金や下水道料金への影響をどのように捉えているのか。</p>	
<p>4 令和3年度全国学力・学習状況調査より</p> <p>(1) 「授業時間以外に普段どれくらいの時間、読書をしますか」の問い(児童生徒質問21)に「全くしない」。</p> <p>本県小学生 29.3% (全国平均 24.0%)。</p> <p>本県中学生 36.4% (全国平均 37.4%)。</p> <p>次に「あなたの家にはどれくらい本がありますか」の問い(児童生徒質問22)に0~25冊が本県小学生 41.1% (全国平均 30.0%)。</p> <p>本県中学生 45.4% (全国平均 34.4%)。</p> <p>一方101冊以上が本県小学生 26.0% (全国平均 36.0%)。</p> <p>本県中学生 23.8% (全国平均 33.9%) だが村の見解は。</p> <p>(2) 学校における図書費は足りているのか。</p> <p>(3) 必要とする自治会に図書費を補助し地域での学びの環境充実が必要と考えるが。</p>	